

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 2 年 1 0 月 1 8 日

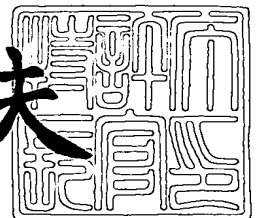
出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 2
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 2]

出 願 人
Applicant(s): 吉田工業株式会社

2 0 0 3 年 9 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 YOS0313

【提出日】 平成14年10月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 化粧品容器

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社
社内

【氏名】 柚原 幸知

【特許出願人】

【識別番号】 000160223

【氏名又は名称】 吉田工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100094042

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴木 知

【選任した代理人】

【識別番号】 100071283

【弁理士】

【氏名又は名称】 一色 健輔

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 170842

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 化粧品容器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、

上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に装着される交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーを保持させるために、これら両者を該交換用カバーのスライド方向に係脱自在に係止する係止部とを備えたことを特徴とする化粧品容器。

【請求項 2】 前記スライド係合部が、前記蓋体もしくは前記容器本体および前記交換用カバーのいずれか一方にスライド方向に沿って設けられた凹部と、いずれか他方に設けられて該凹部にスライド自在に挿入される凸部とを備え、前記係止部が、上記凹部内に弾性変形自在に設けられて上記凸部に係脱自在に係合する係止突起であることを特徴とする請求項 1 に記載の化粧品容器。

【請求項 3】 前記凹部および前記凸部が、前記交換用カバーのスライド方向の適宜位置に設けられるとともに、上記凹部にはこれに上記凸部を挿抜自在に挿入するための切り欠き部が設けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の化粧品容器。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧品容器に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に化粧品容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧品容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。

【0 0 0 3】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願 2 0 0 1 － 2 4 9 0 0 0 を出願している。

【0 0 0 4】**【発明が解決しようとする課題】**

ところで、従来の化粧品容器にあっては、製品としての化粧品容器を高級感溢れる高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあっては、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があった。

【0 0 0 5】

このような要請は反面、化粧品容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧品容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧品容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

【0 0 0 6】

本発明は上記従来の課題に鑑みて創案されたものであって、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧品容器を提供することを目的とする。

【0007】**【課題を解決するための手段】**

本発明にかかる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に装着される交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーを保持させるために、これら両者を該交換用カバーのスライド方向に係脱自在に係止する係止部とを備えたことを特徴とする。これにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

【0008】

また、前記スライド係合部が、前記蓋体もしくは前記容器本体および前記交換用カバーのいずれか一方にスライド方向に沿って設けられた凹部と、いずれか他方に設けられて該凹部にスライド自在に挿入される凸部とを備え、前記係止部が、上記凹部内に弾性変形自在に設けられて上記凸部に係脱自在に係合する係止突起であることを特徴とする。凹部と凸部によって、蓋体もしくは容器本体と交換用カバーのスライド操作を案内することが可能で、安定した操作性を確保し得るとともに、係止突起の弾性変形によって、凸部の係脱操作の容易化を図り得る。

【0009】

さらに、前記凹部および前記凸部が、前記交換用カバーのスライド方向の適宜位置に設けられるとともに、上記凹部にはこれに上記凸部を挿抜自在に挿入するための切り欠き部が設けられていることを特徴とする。スライド操作を案内する凹部内への凸部の挿入をスライド方向の適宜位置で行うことが可能となり、スライド操作量を短くできて、交換用カバーの脱着操作の簡便化を図り得る。

【0010】**【発明の実施の形態】**

以下に、本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧料容器 1 は図 1 ～図 3 に示すように、収納凹部 2 が形成された皿状の合成樹脂製容器本体 3 と、容器本体 3 の前後長さ方向後端にヒンジ 4 を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体 3 を開閉するとともに、容器本体 3 の前端にフック 5 を介して係脱自在に係合されて当該容器本体 3 の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体 6 と、蓋体 6 および容器本体 3 の少なくともいずれか一方、図示例にあっては蓋体 6 に着脱自在に装着され、交換可能に蓋体 6 を覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー 7 とから主に構成される。

【0011】

交換用カバー 7 の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、交換用カバー 7 は容器本体 3 を覆って設けられてもよく、また蓋体 6 および容器本体 3 の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体 3、蓋体 6、並びに交換用カバー 7 は平面外形輪郭が矩形状に形成されているけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体 6 の裏面には、鏡 8 が取り付けられている。

【0012】

フック 5 は、容器本体 3 の前端に形成された凹所 9 内に突設されたフック用突起 10 と、蓋体 6 の前端から垂下されてフック用突起 10 に係脱自在に係合されるフック片 11 とから構成される。またヒンジ 4 は、容器本体 3 の後端から一対突設されたヒンジ片 12 間に、蓋体 6 の後端から垂下させたヒンジブロック 13 が挟み込まれ、これらヒンジブロック 13 からヒンジ片 12 にわたって、容器本体 3 の左右幅方向にヒンジピン 14 が挿入されることで構成される。

【0013】

交換用カバー 7 は、化粧料容器 1、本実施形態にあっては蓋体 6 の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー 7 に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー 7 に対し、一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成さ

れる。交換用カバー 7 は、蓋体 6 の上にこれを覆って重ね合わせて装着される。図示例に従って説明すると、交換用カバー 7 は、後端を除いて、その周縁から蓋体 6 に向かって垂下させて垂下部 15 が形成されている。

【0014】

他方、相当の厚さで板状に形成された蓋体 6 には、後端を除いて、その外周壁 6a 下端から水平方向外方へ突出させて、交換用カバー 7 の垂下部 15 が載置される鍔部 16 が形成される。また蓋体 6 の後端には、蓋体 6 の幅方向へ左右の鍔部 16 間にわたって、蓋体 6 の上面 6b から上方へ突出する立て壁部 17 が形成され、この立て壁部 17 には交換用カバー 7 の後端が当接されるようになっている。同様にして、蓋体 6 前端的な外周壁 6a には、交換用カバー 7 前端的な垂下部 15 が当接されるようになっている。

【0015】

このように構成された蓋体 6 と交換用カバー 7 との間には、蓋体 6 に交換用カバー 7 をスライド自在に係合させるスライド係合部が設けられる。スライド係合部は、蓋体 6 の幅方向左右の外周壁 6a に、鍔部 16 とその直上に突出される底部 18 との間に挟み込むようにして、スライド方向である蓋体 6 の前後方向に沿って適宜長さで設けられた凹部 19 と、交換用カバー 7 の幅方向左右の垂下部 15 下端に内側に向けて凹部 19 よりも短い長さで設けられ、凹部 19 にスライド自在に挿入される凸部 20 とから構成される。

【0016】

本実施形態にあつては、これら凹部 19 および凸部 20 は蓋体 6 および交換用カバー 7 に対して、当該交換用カバー 7 のスライド方向の適宜位置に設けられる。図示例にあつてはこれら凹部 19 および凸部 20 は、左右の各外周壁 6a および各垂下部 15 の前端側および後端側に、互いに相当の距離を隔てて 2 箇所形成されているけれども、1 箇所でも 3 箇所以上であっても良い。また、これら凹部 19 と凸部 20 とは、凸部 20 が凹部 19 から上下方向には抜脱不能に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって上下方向に係合される。また、各凹部 19 には、当該凹部 19 に凸部 20 を挿抜自在に挿入するために、その前端側と蓋体上面 6b とを連通させる切り欠き部 21 が形成され、これにより凹部 19 は、切り欠

き部 21 と一連に L 字状の凹陷部として形成される。従って、凸部 20 は切り欠き部 21 を介して凹部 19 内に挿入され、さらに底部 18 と鍔部 16 との間で凹部 19 内を蓋体 6 の前後方向にスライドされるようになっている。

【0017】

さらに、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間には、蓋体 6 に交換用カバー 7 を保持させるために、これら両者を交換用カバー 7 のスライド方向に係脱自在に係止する係止部が設けられる。本実施形態にあつてはこの係止部は、凹部 19 内に弾性変形自在に設けられ、スライドしてくる凸部 20 を係脱自在に係止する係止突起 22 から構成される。係止突起 22 は、底部 18 に切り欠き部 21 から蓋体 6 の後端側に向かって相当の長さでスリット 23 を形成することによって、上下方向に弾性変形可能に形成されたカンチレバー状の弾性片 24 と、この弾性片 24 の先端に下向きに形成された突起 25 とから構成される。

【0018】

凹部 19 内に挿入された凸部 20 は、突起 25 を介して弾性片 24 を押し上げることで、当該突起 25 をスライド方向に乗り越えて係止されたり、離脱されるようになっている。図示例にあつては、係止突起 22 は、蓋体 6 の前端側の凹部 19 に設けられているけれども、後端側の凹部 19 に設けたり、また蓋体 6 の左右で前端側と後端側とに別々に設けてもよく、さらにはすべての凹部 19 に設けてもよい。

【0019】

本実施形態にかかる化粧料容器 1 の作用について説明すると、化粧料容器 1 を購入した購買者が蓋体 6 に装着されている交換用カバー 7 を、他のデザインの新たな交換用カバー 7 に交換する際には、交換用カバー 7 を前方に向かってスライドさせる。交換用カバー 7 をスライドさせると、凸部 20 は係止突起 22 から離脱されて凹部 19 の前端に達するので、この状態で交換用カバー 7 を蓋体 6 から引き離せば、凸部 20 が切り欠き部 21 を介して凹部 19 から抜け出すことになり、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。

【0020】

次いで、新たな交換用カバー 7 を蓋体 6 に装着する際には、凸部 20 を切り欠

き部 21 に合わせた状態で交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせることにより、凸部 20 を凹部 19 内に挿入し、その後交換用カバー 7 を後方に向かってスライドさせる。交換用カバー 7 をスライドさせると、凸部 20 は凹部 19 内をスライドして係止突起 22 を乗り越えて係止されることになり、これによって交換用カバー 7 の垂下部 15 が蓋体 6 の鍔部 16 上に載置された状態で、交換用カバー 7 の後端および垂下部 15 の前端が蓋体 6 の立て壁部 17 および外周壁 6a 前端に当接され、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせて装着することができる。

【0021】

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器 1 にあっては、蓋体 6 にこれを覆って交換可能に装着される交換用カバー 7 と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、蓋体 6 に交換用カバー 7 をスライド自在に係合させる、凹部 19 と凸部 20 とからなるスライド係合部と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、当該蓋体 6 に交換用カバー 7 を保持させるために、これら両者を交換用カバー 7 のスライド方向に係脱自在に係止する、係止突起 22 からなる係止部とを備えたので、交換用カバー 7 を交換することができ、化粧料容器 1 の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器 1 として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

【0022】

また交換用カバー 7 としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー 7 から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器 1 を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

【0023】

また主として、凹部 19 と凸部 20 とからなるスライド係合部のスライド操作のみで簡単に交換用カバー 7 の脱着操作を行うことができる。さらに、スライド係合部を、蓋体 6 にスライド方向に沿って設けられた凹部 19 と、交換用カバー

7に設けられて凹部19にスライド自在に挿入される凸部20とを備えて構成し、また係止部を、凹部19内に弾性変形自在に設けられて凸部20に係脱自在に係合する弾性片24と突起25からなる係止突起22から構成したので、凹部19と凸部20によって、蓋体6と交換用カバー7のスライド操作を案内することができて、安定した操作性を確保することができるとともに、係止突起22の弾性変形によって、凸部20の係脱操作も容易化することができる。

【0024】

また、凹部19および凸部20を、交換用カバー7のスライド方向の適宜位置に設けるとともに、凹部19にはこれに凸部20を挿抜自在に挿入するための切り欠き部21を設けたので、スライド操作を案内する凹部19内への凸部20の挿入をスライド方向の適宜位置で行うことが可能となり、スライド操作量を短く設定することができて、交換用カバー7の脱着操作の簡便化を図ることができる。

【0025】

ところで、容器本体3、蓋体6、並びに交換用カバー7の平面外形輪郭を多角形状や円形状とした場合には、例えば蓋体6の上面6bにスライド凹溝を形成するとともに、交換用カバー7から垂下させてスライド凸条を形成するなどしてスライド係合部を構成し、この凹溝や凸条に係止部を組み込むようにすればよい。

【0026】

上述した本実施形態にあっては、蓋体6に交換可能にこれを覆う交換用カバー7を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体3に交換用カバー7を設ける場合には、容器本体3と交換用カバー7との間にスライド係合部や係止部を設けるようにし、この際、凹部19や係止突起22、切り欠き部21は、容器本体3もしくは交換用カバー7のいずれか一方に設ける一方で、凸部20は他方に設けるようにする。

【0027】

さらに、本実施形態にあっては、ヒンジ4やフック5を備えた化粧料容器1を例示して説明したが、これに限らず、容器本体3に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体6を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんで

ある。

【 0 0 2 8 】

【発明の効果】

以上要するに、本発明にかかる化粧料容器にあつては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を示す側断面図である。

【図 2】

図 1 の化粧料容器の蓋体の一部破断分解斜視図である。

【図 3】

図 1 の化粧料容器の一部正面断面図である。

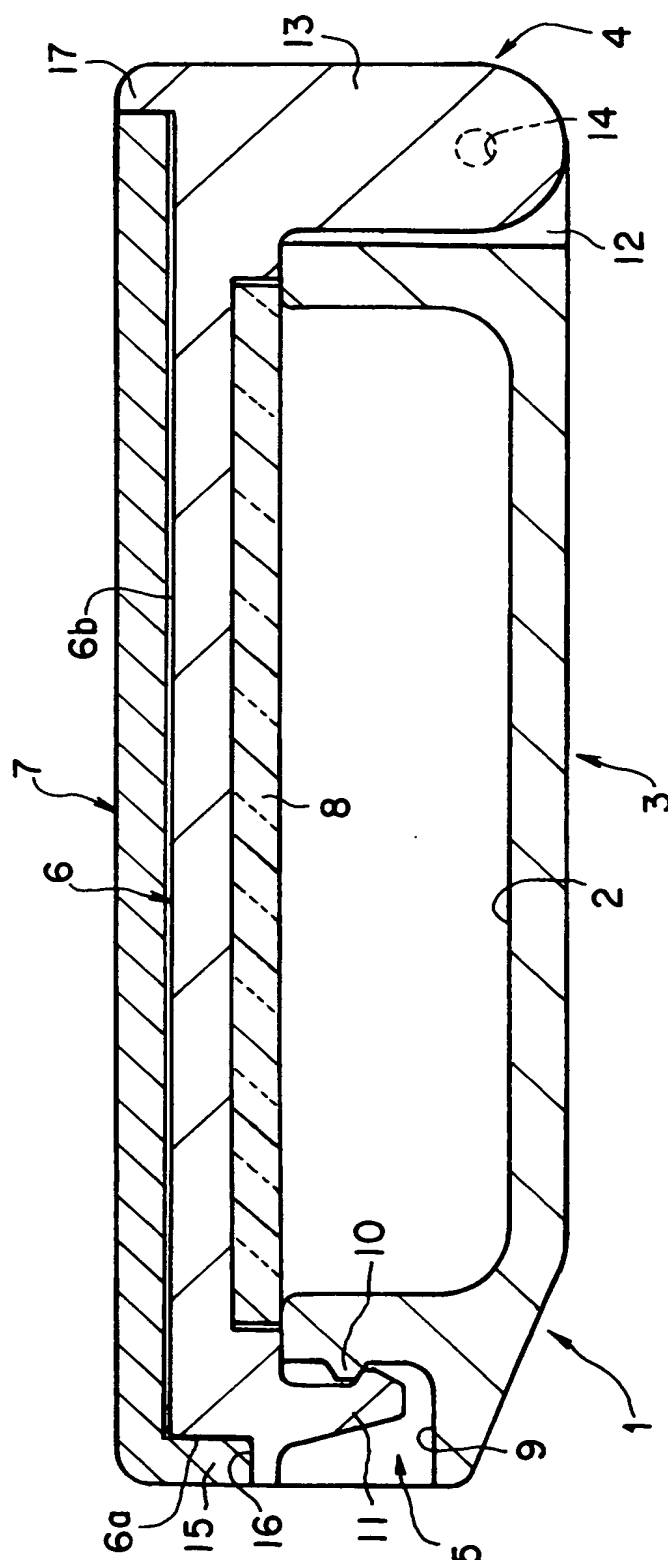
【符号の説明】

1	化粧料容器	3	容器本体
6	蓋体	7	交換用カバー
1 9	凹部	2 0	凸部
2 1	切り欠き部	2 2	係止突起

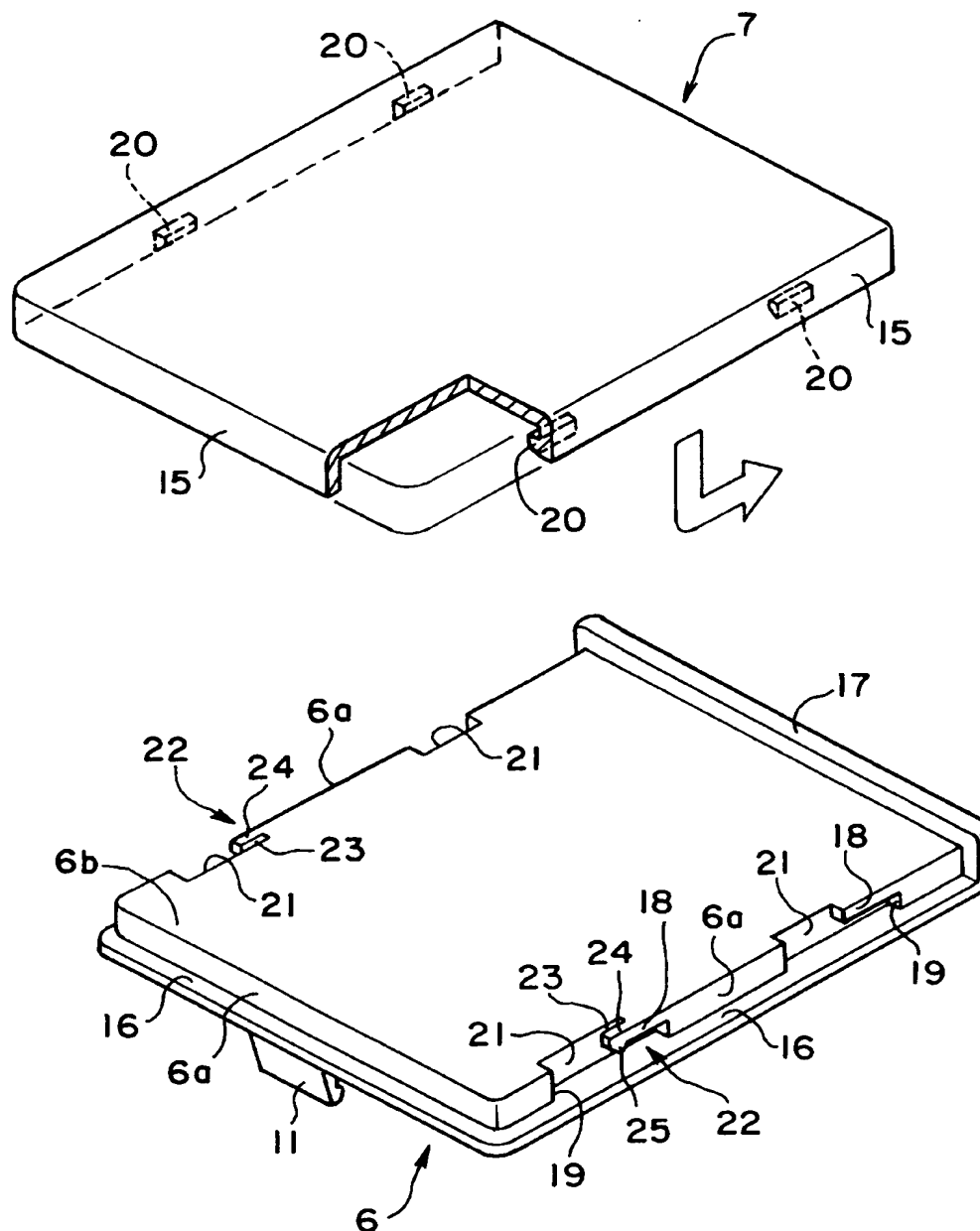
【書類名】

図面

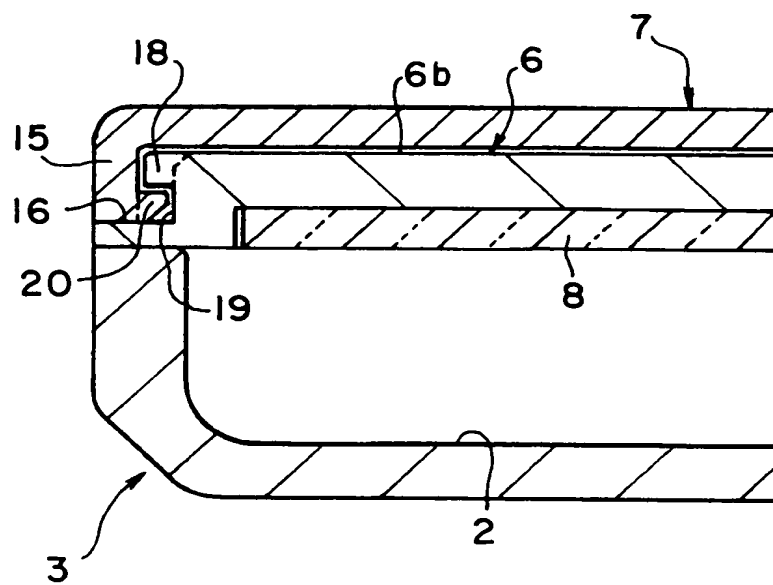
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供する。

【解決手段】 容器本体とこれを開閉する蓋体 6 とを有する化粧料容器において、蓋体 6 にこれを覆って交換可能に装着される交換用カバー 7 と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、蓋体 6 に交換用カバー 7 をスライド自在に係合させる凹部 1 9 と凸部 2 0 からなるスライド係合部と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、当該蓋体 6 に交換用カバー 7 を保持させるために、これら両者を交換用カバー 7 のスライド方向に係脱自在に係止する係止突起 2 2 からなる係止部とを備えた。

【選択図】 図 2

特願 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 1 6 0 2 2 3]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 9 月 1 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都墨田区立花 5 丁目 2 9 番 1 0 号

氏 名

吉田工業株式会社